



令和元年7月16日

各位

会社名 株式会社くろがね工作所
代表者名 代表取締役社長 神足 尚孝
(コード：7997、東証第2部)
問合せ先 取締役経理本部長 森 吉武
(TEL. 06-6538-1010)

第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成31年3月15日に公表いたしました令和元年11月期（平成30年12月1日～令和元年11月30日）の第2四半期累計期間業績予想と実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、同じく平成31年3月15日に公表いたしました令和元年11月期（平成30年12月1日～令和元年11月30日）の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績の差異（平成30年12月1日～令和元年5月31日）

(1) 連結業績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	5,310	50	20	10	5円87銭
実績値（B）	5,234	△50	△63	△65	△38円65銭
増減額（B－A）	△76	△100	△83	△75	
増減率（％）	△1.4	－	－	－	
(参考)前期第2四半期実績 (平成30年11月期第2四半期)	5,470	2	△24	19	11円25銭

(2) 個別業績

単位：百万円

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	5,300	10	0	0円0銭
実績値（B）	5,214	△69	△67	△39円63銭
増減額（B－A）	△86	△79	△67	
増減率（％）	△1.6	－	－	
(参考)前期第2四半期実績 (平成30年11月期第2四半期)	5,463	△39	7	4円16銭

2. 通期の業績予想数値の修正（平成30年12月1日～令和元年11月30日）

(1) 連結業績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	10,770	125	85	40	23円48銭
今回修正予想（B）	10,550	60	40	25	14円67銭
増減額（B－A）	△220	△65	△45	△15	
増減率（％）	△2.0	△52.0	△52.9	△37.5	
(参考)前期実績 (平成30年11月期)	11,042	△22	△54	△59	△34円96銭

(2) 個別業績

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	10,750	65	30	17円61銭
今回修正予想（B）	10,500	30	20	11円74銭
増減額（B－A）	△250	△35	△10	
増減率（％）	△2.3	△53.8	△33.3	
(参考)前期実績 (平成30年11月期)	11,035	△75	△77	△45円72銭

3. 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績との差異及び通期業績予想修正の理由

第2四半期累計期間の売上高は、家具関連事業につきましては金融機関、大手企業等の大口案件の減少等により、売上面においては予想を下回りました。建築付帯設備機器事業につきましては、東日本地区での大口案件やコストダウン仕様の新製品の投入等もあり増収となりましたが、損益面では依然として主要材料である鋼材・樹脂等の原材料価格が想定よりも高止まりし、運送費・組立費・搬入費・施工費等が高騰を続けている影響を受けた結果、前回発表の業績予想と実績の差異が発生いたします。

通期の予想につきましては、激しい価格競争が続いておりますが、当第2四半期より内製化の取り組みによる外注加工費の削減等により製造原価の低減を進め粗利率は改善傾向にあります。新規事業の取組みとして文書整理収納体の受注が増加し、前期より取り組みました空調機OEM事業の受注が堅調に推移する予想であります。連結売上高及び利益面におきまして第2四半期累計期間までの減少をカバーすることが出来ず前回の発表予想を下回る見込みであります。

(注)上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上